

子どもが学校に行ってもいかなくても
安心して過ごせる社会を！



特定非営利活動法人優タウン

代表理事 小沼陽子

活動拠点：藤沢市



不登校は"命に関わる"社会課題

社会の現状



全国状況（令和5年度）

小、中学生の不登校児童は約34万人（3.7%）/ 11年連続増加

藤沢市の実態（令和5年度）

- ◆ 児童生徒数：33,869人
- ◆ 不登校：1,128人（3.3%）
- ◆ フリースクール等利用：約70人（6.2%）

※令和6年末、藤沢市議会での答弁より

90%以上の不登校児の親子が、学校以外の学び場にアクセスできず孤立しています

“ 先がまっくら・・・ ”

“ 同じような悩みを話せる友達がいない ”

“ どこに相談したら良いのかわからない ”



これまでの活動



朝Cafeこどもアート展

1

代表小沼の長男が不登校

孤立と苦しみを体験

「息子の命を守る」

「子どもが学校に行っても行かなくても安心できる社会をつくりたい」

2

2016年 20年間勤めた会社を退職

3

2017年 『ホームスクーリングで輝くみらい
タウンプロジェクト』 立ち上げ

4

2018年 不登校親の会「朝Cafe」開始

5

2020年 子ども達の作品展

「朝Cafeこどもアート」開始

6

2023年 「NPO法人優タウン」設立

7

2024年 働く親の「夜Cafe」を開始



朝Cafe 開始当初



優タウン設立パーティー

安心できる“居場所”と体験の場を地域に



朝Cafe・夜Cafe

不登校親子の居場所、
つながりの機会
月1回程度開催



朝Cafeこどもアート展

リアル+メタバースで
作品を展示
年1回程度開催



季節のイベント

音楽会・
遠足など多彩な体験活動
不定期開催



2,565

延べ参加者
2018～2024年度

1,629

延べ受益者
不登校親子

936

延べボランティア
地域の支え合い

825

2024年度延べ参加者
72回開催

128

LINEグループ
日常的に繋がる当事者グループ



—— 支え合いの循環と地域への広がり

若者の成長と挑戦

朝Cafe子どもアート in メタバース (2025年6月)

不登校経験者の若者スタッフが企画→プレゼン→実施

作品応募：10点、アクセス数：120回

VR体験会も開催 → リアルの親子のつながりに発展



地域の方のご協力



- “ 子どもも大人も
自然に笑顔になれる ”
- “ 親が元気であることが
大事だと実感した ”
- “ 温かい雰囲気
に救われた ”

地域のみんなで子どもを支え合い、どんな子どもにも優しい社会を



見えてきた課題

- ・登校しぶり時期の支援が必要
- ・フルタイム母親はつながりを得にくい

将来の展開

実態を明らかにし、市民センターやカフェでの常設展開につなげる

現在の取り組み

藤沢市/東京大学大学院と協力し、
市内全学童（4,472名）に向け
「働く保護者と登校しぶり実態調査」

- 令和7年度神奈川県 NPO活動基盤づくり補助金
- アンケート期間： 10月後半～11月初旬



目指す未来

すべての親子が無料で安心して参加できる環境の社会モデルを構築し、不登校親子の孤立をなくす

